

挑戦！ 若者の感性で 柳ヶ瀬を元気に

SATSUKI TAILOR
代表 水野琢朗 さん



柳ヶ瀬で、スーツのオーダーメイド業を行うSATSUKI TAILORの水野さん。初めてオーダーメイドスーツを作る若い人や地元の中企業経営者を中心に、口コミや紹介等で評判になり顧客が増加している。今回は、代表の水野さんに柳ヶ瀬とオーダーメイドへの想いを伺った。

柳ヶ瀬に対する想い

SATSUKI TAILORが、柳ヶ瀬の神室町で開店して今年で3年目を迎える。

29歳の水野さんは、柳ヶ瀬ブルースがヒットした高度成長期はもちろんのこと、活気があったバブル期の柳ヶ瀬を肌で感じた事が無い世代であるが、柳ヶ瀬に対して強い憧れと期待を抱いている。

「私は多治見市出身なので、外から柳ヶ瀬を見てきました。商店街の関係者や若い方が積極的にイベントを行っていて街に新しい風が吹いていることを感じますし、地元の人々の柳ヶ瀬復興への期待感の高さから再びファッションの情報発信の地として再興するポテンシャルを持っていると思います。水野さん自身もファッションに関する情報発信や「柳ヶ瀬サプール」という映画から飛び出してきたようなオシャレな格好をするイベントを定期的に展開している。」

み合わせてできる世界でひとつだけのスーツにワクワクしました。そして、仕上がったスーツに袖を通した時はフィット感に感動しました。水野さんは、この衝撃が忘れられず、新卒で就職した会社を退職し、同じ悩みを抱えている人たちにオーダーメイドの魅力を伝えたいと、オーダーメイドの修業を行い、その後2016年2月に現在の店舗を創業するに至った。

お客様の要望の半歩先を提案する

「当店は、下は10代から上は80代まで幅広い世代の方々にご利用いただいております。その中でも特に最近では、初めてスーツを仕立てたいという若い層のお客様が増えています。オーダーメイドは既製品と比べると、一般的には高価なものというイメージがある。しかし、価格帯を5万円台から設定し、初めてオーダーする人には3万円台からとさらに安価にすることで敷居を低くするとともに、ホームページで価格帯や店のコンセプトを丁寧に伝えることに力を入れている。

オーダーメイドの魅力について、水野さんは2つあると考えている。

ひとつが体へのフィット感。自身の経験を踏まえ、既製品では合わない方へ「世界にあなただけにフィットするスーツ」を提案している。

もうひとつが隠れたおしゃれ。顧客の職業とスーツの要望を聞いた上で色・柄・生地を提案する。「仕事に差し支えなくオシャレになるよう、お客様の要望の半歩先を提案するよう心がけています。」

メイドイン岐阜を目指して

アパレルは国内産業の空洞化が叫ばれて久しいが、オーダーメイド業界もネットで注文し中国やベトナムで仕立てる格安スーツが浸透している。

オーダーメイド業を始めたきっかけ

水野さんは、中学校から大学までバドミントンに打ち込み、岐阜県大会では上位の成績を収め、東海大会に進むほどの実力の持ち主である。腕周りや胸板にはしっかりと筋肉がついていて、いわゆる体育会系のがっしりとした体つきであったが、身長は158センチと平均より低い方であった。

そのため、身長に合わせて服を選ぶと腕周りや胸板がわず、胸板周りで合わせると袖が長すぎるなど、既製品のサイズが全く合わないのが、ファッションに興味があったもののオシャレをあきらめてきた経緯があった。

「私のように、背が低い人だけでなく、日本人離れした背が高い筋肉質体型の人と同じように服がないんです。気に入った服を見かけてもサイズがない。体育会系の人達はジャージを着ているイメージが強いと思いますが、全員が好んでジャージを着ているわけではないんですよ。水野さんは、体育会系の人たちの気持ちを代表して熱弁する。

22歳の時、就職活動のために初めてスーツをオーダーメイドした。「自分の好きな生地、色、ボタンと選択し組

水野さんは、安価なアジア製よりも日本の技術力と信頼性を重視し、素材はイタリア・イギリス等の海外製はもちろん、岐阜・羽島・一宮など地元のものも多く取り扱っており、仕立ては国内の縫製工場で行っている。「最終的な理想はメイドイン岐阜。岐阜のアパレルの力を結集した仕組み作りを目指して協力業者さんを常に開拓し続けています。水野さんは、岐阜こそがアパレルのメッカだと信じているのである。

40年先の地で活動を

SATSUKI TAILORは、来月12月に現在の柳ヶ瀬神室町から、本通りに移転する。水野さんは、この柳ヶ瀬の地をもっとファッションで盛り上げたいと決意し、柳ヶ瀬の玄関口にあたる場所です階建ての中古ビルを購入したのである。

現在、柳ヶ瀬エリアではマンションの建設が計画されるなど、数年後には数百世帯が増加すると言われている。水野さんの決断が呼び水となり、若手経営者がこの地に魅力を感じ柳ヶ瀬がファッションの中心地になることは十分にあり得ることである。

「現在は、このエリアでは私が最も若い経営者だと思えます。しかし40年後にはこのエリアで最も長い期間商売をし続け、柳ヶ瀬の復興の変遷の歴史を思い出話として語る経営者になりたいです。40年後、オシャレな人で賑わう柳ヶ瀬で、オシャレな服を提案し続ける水野さんが目に浮かんでくる。」



柳ヶ瀬サプール